

<b>研究課題名</b>	<b>法医剖検例における各種薬毒物の体液・臓器分布に関する研究</b>
<b>研究の意義・目的</b>	法医中毒学において、死後の体液や諸臓器における薬物濃度の分析は、服用期間や死後拡散、代謝、再分配などの影響を理解するのに重要です。本研究では、法医剖検例における薬毒物の各種体液・臓器間の分布状態の違いについて、それぞれの濃度を分析し、薬毒物の薬物動態および法医学的意義について調査します。加えて、薬毒物分析と同時に検出された低分子生理活性物質についても病態生理との関係性を調査します。これらの薬物動態および低分子生理活性物質の理解は、法医学分野のみならず様々な医学系分野において医学上貢献できるものと考えられます。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施の許可日 ~ 2029 年 3 月
<b>研究協力を お願いしたい方 (対象者)</b>	2015 年 1 月~2028 年 12 月に大阪公立大学大学院医学研究科法医学教室で解剖された方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目</b>	法医解剖において死因究明の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 試料：【血液、尿、心嚢液、脳脊髄液、胆汁、眼房水などの体液、心臓、肝臓、腎臓、脳、筋肉、肺、生殖器などの組織】 鑑定情報：【薬物および低分子生理活性物質の定性・定量データ、年齢、性別、死因、死後経過時間、発病経過時間、薬物摂取の捜査情報など】
<b>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科法医学のみで行います。 【研究責任者】谷 直人
<b>本研究の 利益相反</b>	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	剖検情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 谷 直人 電話番号：(06) 6645-3767 メールアドレス：gr-med-legalmed@omu.ac.jp